

# ウルトラ建設探訪記

vol.07

『ウルトラセブン』に見る高度成長期の建造物

『ウルトラセブン』第29話「ひとりぼっちの地球人」



『ウルトラセブン』55周年記念サイト <https://seven55th.m-78.jp/>

©円谷プロ

あの時の**未来**

日本近代建築の巨匠、前川國男氏の作品

江戸時代に京都御所で開講した「学習院」を起源とし、戦後の学制改革で1949年に新制大学としてスタートした学習院大学。1960年には、当時日本の近代建築をリードしていた一人、前川國男氏に設計を依頼し、数棟の校舎を新築。その一つが中央教室、通称「ピラミッド校舎」である。エジプトのピラミッドとは異なり、頂点为中心部からずれた先鋭的なデザインが大学のシンボリック存在として親しまれたが、2008年、老朽化により惜しまれつつ解体された。解体前にはイベントが開催され、建物が作中で使用された第29話の上映会も行われたという。



提供：学習院大学

セブンの見た街、共生の未来

『ウルトラセブン』第29話「ひとりぼっちの地球人」では、自身の研究に唯一理解を示してくれた仁羽教授の正体が宇宙人だと知りながら、電送移動機の開発に協力してしまった研究者・一の宮の悲しい運命が描かれる。仁羽教授=プロテ星人の目的が地球侵略だと判明すると、一の宮は危険も顧みず、逃亡を阻止するため電送移動機に教授とともに乗り込み、二人は消滅。一人の孤独な科学者が、自分を認めた宇宙人との閉鎖的な「共生」の關係に一度は活路を見出そうとしたものの、最期は身を挺して地球を守ったという物語となっている。

ロケ地の現在の姿や作品に映る建造物を追いかける巡礼散歩へGO!!  
55年前の「未来」、そしてその「現在」を動画で紹介します。



動画のナビゲーターは  
モロボシ・ダン役の森次晃嗣さん。  
二次元コードからぜひご覧ください。



<https://www.youtube.com/@user-qj6md4nz9e>